

たかとりちどりだよい



令和7年11月 第121号
たかとりちどり保育園



実りの秋・私保連「食生活フェア 2025」へ

宮田 孝一

長く暑い夏が終わりました。小さい秋ならぬ短い秋を味わいたいと思います。秋にはいろいろと楽しみがありますが、なんといっても「実り」ではないでしょうか。そこで、天高く馬肥ゆる秋にふさわしいイベントのご紹介です。

たかとりちどり保育園は、神戸市私立保育園連盟に加盟し、その活動の一翼を担っています。園長はそれぞれ委員会活動に参画しており、私は「普及啓発委員会」の「食育」を推進する部門に所属しています。来る11月29日(土)に、当委員会が企画運営する「食生活フェア」が、JR神戸駅東側のデュオドームで開催されます。

「未来につながる子どもの食～食でつながる子どもの育ち」をテーマに、「あそび」「展示」「ミニセミナー」「相談」のコーナーに分かれて、子どもたちが「食べること」や「食べるもの」に興味関心を持ち、「食」を大切にする心を育むことをめざした内容となっています。

中でも、11:30と12:15の2回開催される『お米マイスターによる「お米の話』は必見です。日本人の主食である米を、よりおいしく炊き上げるコツが分かります。

また、13:00からは、歯科医の先生の「子どもの歯の話」と題した講演があります。乳幼児期のデンタルケアの大切さなど、子どもの健康と成長に欠かせない「食」と「口」についてお話しいただきます。

このフェアは、平成6年に始まりましたが、デュオドームで開かれるのは初めてです。お買い物やお出かけのついでに、お気軽に立ち寄りください。お待ちしています。



11月の予定



神戸垂水ちどり交流（ゆめぐみ）5日（水）

誕生会 6日（木）

内科健診（全園児）・耳鼻科健診（そら・ゆめぐみ） 6日（木）

わくわく親子ふれあい会・懇談会（あさひぐみ）12日（水）（ひかりぐみ）13日（木）

発育測定 17日（月）～19日（水） 避難訓練 20日（木）

救急訓練 26日（水） よい子のつどい（ゆめぐみ） 26日（水）

体育あそび 12日（水）・21日（金）

あさひぐみ



先月はウッドデッキやテラス、屋上園庭に行ってたくさん遊びました。ウッドデッキやテラスでは電車や車・バイクに「バイバイ」と手を振ったり、シャボン玉を追いかけたりして楽しむ姿が見られました。屋上園庭では、保育士の「よーいドン」の掛け声に合わせて走ろうとしたり、小さい滑り台にチャレンジしたりし、体を動かしていました。今後も、戸外や広い空間でのびのびと体を動かして遊ぶ機会を大切にしていこうと思います。

夏の終わり頃から、食前やおやつ前に手洗いをしています。少しずつ習慣づいてきており、保育士に声を掛けられると、水道のところへ来て手を洗おうとするようになってきました。保育士が一緒に洗う中で、石鹼を使って丁寧に洗う習慣が身につくように援助していきます。



毎日の習慣が身についてきたこともあり、戸外から帰ってきた際や、給食になると進んで手を洗いに行く子どもたち。保育士と一緒に手に石けんをつけたり、自分でこすって洗ったりなど意欲的に取り組んでいます。これからも「きれいになったね」「気持ちいいね」など清潔にして過ごす心地よさを代弁し、一緒に行うことで、丁寧に洗えるようにしていきます。

日に日に言葉数が多くなるとともに、友だちの名前を呼んで関わったり、言葉でやりとりをしたりする姿が増えてきました。ままごとやラーメン屋さん、ドーナツ屋さん等のごっこ遊びが好きな子どもが多いため、今後も様々なごっこ遊びをする中で、友だちとのやりとりを楽しめるようにしていきます。



ひかりぐみ



先月はふれあいデーのサーキット遊びに加え、テラスや屋上でコーン倒しやしっぽ取り、他にも椅子取りゲームなど、簡単なルールのある遊びを楽しみました。どれもすぐにルールを理解し、保育士と勝負したり友だちと競ったりしながら、勝ったときは「やったー！」と喜んでいました。今後も好きな遊びや楽しんでいる活動をたくさん取り入れ、様子に合わせてルールを複雑にしたり、より展開したりしながら遊んでいきます。

今月は、10月中旬から積極的に行っているうがいを、より習慣づくようにしていきます。傍で様子を見守ったりくり返しやり方を伝えたりすることで、ガラガラうがいとブクブクうがいの違いや、それぞれのうがいをどのタイミングでするのかなどを覚えて、意欲的に取り組んでいけるようにします。



にげろ～



きりんグループ

夏の終わりから縄跳び、鉄棒にチャレンジしてきました。ゆめ組の頑張りを見て、年下の子どもたちも「なわとびする」「さかあがりのれんしゅうする」と頑張り始めました。ほし組の友だちが走りながら軽快に跳んでいるのを見て、年上の子どもたちは「負けないぞ」とくり返し挑戦し、走り跳びを見せてくれるようになり一緒に喜んでいます。「〇〇かいとべた」と喜ぶ子どももいれば、「△△かいしかとべなかった」と落胆する子どももいるので、挑戦する姿を認めて、休憩するよう声を掛けたり、一緒に数を数えたりしてきました。今はゆめ組が竹馬に挑戦中！目標達成に向けて引き続き、援助していきます。

季節が進み、風邪が流行る季節になりました。今月はうがい手洗いに力を入れていきます。丁寧に手洗い、がらがらうがいをこまめにしていけるよう、声を掛けていきます。



きろくこうしん！



うさぎグループ

先月は、公園に出かけたり、屋上園庭で遊んだりなど、戸外での活動を取り入れました。子どもたちの中で、縄跳びや鉄棒がブーム！「せんせいみて～」「まえまわりできたよ！」と、できたことを嬉しそうに保育士に伝えています。公園では秋の自然物を探しました。どんぐりや落ち葉、バッタやトンボを夢中で探していた子どもたちです。今後も、天気のいい日には戸外に出て活動する機会を作っていきます。

ほしぐみの子どもは少しずつお箸に慣れてきました。まだ難しい様子もありますが、年上の友だちの真似をして頑張って取り組んでいます。そら、ゆめぐみの子どもも食事のマナーを守りながら食べられるように、一緒に確認をしたり、声を掛けたりしていきます。



みててね！



とんぼをつかまえたよ



ぞうグループ

先月は、歯磨きの仕方について話をする機会を設け、丁寧な磨き方が身に付くようにしました。保育士が見本となり歯ブラシの持ち方や歯の磨き方を見せたり、その都度知らせたりすると、「みてみて」「こうやってするんでしょ」と磨く姿を見せに来る姿がありました。少しずつ持ち方や磨き方を意識しながら歯を磨く子どもが増えてきたように思います。今後も、磨き残しがないか確認し、きれいな磨き方ができている姿を認めていこうと思います。

最近、音楽に合わせて自由に体を動かす遊びを楽しむ子どもが増えてきました。今月は、みんなで踊れるようなステージを作ったり、ダンス大会をして披露する場を設けたりして、体を動かしてのびのびと表現することを楽しめるようにしたいと考えています。



きれいになったよ



よくみがくよ！

にじぐみ

« ドキドキハラハラ…ジェンガやかるた遊び »

今月は、今にじ組の子どもたちの間で流行っている遊びを紹介します！少しずつ遊び方が複雑になってきて、自由に遊ぶだけでなくルールを守って遊ぶ楽しさも感じられるようになってきています。そんな中でも特に今流行っている遊びが、ジェンガとかるたです。「いっしょにこれしよう！」と保育士を誘い、自分たちでジェンガを積み上げ慎重に抜いたり、「つぎぼくのはん？」と順番を意識しながら遊んだりしています。一方かるたでは、「みんなでならべよう」と取り札を並べたり、読まれた札を一生懸命探しながら一番に取れたときには喜んだりと楽しんでいます。ジェンガを倒してしまったり、かるたの取り札を取れなかったりすると、悔しい気持ちを爆発させながらも、「もういっかいする！」と諦めずに挑戦する姿も見られます。



今後も、好きな遊びを十分に楽しめる時間を設けたり環境を整えたりすることで、様々な遊びを楽しみながら遊び込めるようにしていきます。また、そのような遊びを通して保育士や友だちとの関わりを深めながら、みんなで活動や遊びを広げられるように援助していきます。



« わが町の魅力 »



私は人生のほとんどを「名谷」で暮らしています。結婚当初は違う地域に住んでいましたが、やはり慣れ親しんだ名谷に戻って子育てをし、現在も住んでいます。名谷の魅力は都会でもなく田舎でもないけれど、生活に必要な区役所、銀行、郵便局、商業施設、百貨店、消防署、スーパー、地下鉄などが揃っていることです。加えて赤道（あかみち）と呼ばれる歩道が何本も駅に向かって整備されており、車道に出なくても自転車、ベビーカーを押して駅に向かえます。のんびりした雰囲気が気に入っています。しかし、少子化で子どもたちが通った公立の小中学校と隣りの小学校が合併し、神戸ではまだ少ない小中一貫校になる予定です。

名谷地域に住んでいる人にもあまり知られていない、秘密基地的なおすすめの場所があります。隣の垂水区つつじヶ丘とつながっている土池公園の下から多井畠地区につながる田舎道があります。ここは昔、太陽と緑の道と呼ばれていたように記憶しているのですが、私が通っていた幼稚園の散歩道で、その当時と全く変わっていません。あまり人が通らないので、少人数ではおすすめできませんが、この道を歩いていると気持ちが洗われます。田舎道の先にはこれまた昔のままの多井畠地区があり、厄除けでとても有名な多井畠厄神に行き着きます。1月18～20日の厄除祭には全国から人が集まります。この先に繋がっている奥須磨公園、これもまた昔のまま。幼稚園や小学校の時に遠足で何度も訪問しました。春には桜もきれいでおすすめです。都会はどんどん変わっていますが、この地域には変わらない場所があります。それが魅力であり、私がここから離れられない理由かもしれません。機会があれば、一度訪れてみてくださいね。坂田 美奈

